

## 第2回 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 議事要旨

◆日時 平成29年6月26日（月）午後2時30分～午後5時00分

◆会場 南あわじ市役所本館3階 304・305会議室

◆出席者 委員：9名

松坂委員（委員長）、碓委員（副委員長）

伊吹委員、喜田委員、鈴木委員、谷池委員、西委員、野上委員、吉川委員、

事務局：4名

企画部長、ふるさと創生課長及びふるさと創生課担当2名

傍聴者：1名

### ◆会議の概要

1. 開 会 事務局から開会の言葉

2. 異動職員紹介

○ 事務局から着任あいさつを行った。

3. 協議事項

協議① 南あわじ市総合戦略の内部評価結果等について

協議② 地方創生交付金を充当した事業の評価検証について

○ 事務局より報告①～②について、内容説明等を行った。

#### 【委員の主な質問・意見・評価】

##### 協議①について

・委員：P1 地域づくり協議会懇談会・交流会の2回という数値目標は市長は市民との対話を掲げているにも関わらず少なすぎるのではないかと。

⇒事務局：数値目標に掲げている2回という数字は、地域づくり協議会全体を対象として行う懇談会・交流会のことであります。また、それとは別に各地域づくり協議会個別に対話等の機会が設けられることとなります。また、今年度6月議会にて地域づくりチャレンジ補助金も補正予算を可決いただいたところです。よって、委員ご指摘の対話の回数についてはこれからどんどん増えていくと考えています。

・委員：P3 創業支援施設を開設したものの創業支援相談件数が0件であったとのことだが、金融機関にも起業相談に来られるお客様がいらっしゃるの、情報提供等で連携することは可能か。

⇒事務局：ぜひとも連携させていただきたいと思います。担当である商工観光課へ繋がせていただきます。

・委員：P1 安心・安全な漁港施設の整備について、KPIが沼島の人口に設定されているのは妥当なのか。漁業従事者が対象でないのか。

⇒事務局：事業内容としましては港整備交付金を使って漁港の浮桟橋を耐震化する

ものでして、この漁港施設は、漁船だけでなく沼島島民の生活航路である沼島汽船も利用していることから、沼島の人口をKPIとして設定しています。

- ・委員：保育料の3歳児以上無料化について、小学校入学と同時に転出している者の人数を把握しているか。

⇒事務局：把握を事務局でできていないので確認のうえ後日ご報告させていただきます。

- ・委員：延長保育は市保育所で19時まで行っているが、小学校の学童保育は18時までしか行っていないため、小学校入学と同時に共働きの親は大変になっている。保育園に通っているときに19時まで入園させる必要があって延長保育を利用しているのに、小学校入学と同時に18時に迎えに行かなければならないというのは、正社員で働く夫婦にとって不可能でないか。

⇒事務局：学童保育担当課にご意見を伝えさせていただきます。

- ・委員：P3障害者が安心して働き続けられる場の提供としての特例子会社とは何か。

⇒事務局：事業主が障害者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、実雇用率を算定できるものでして、法人税の計算にも優遇制度が設けられているものです。

## 協議②について

### ①南あわじを売り出そう地域が元気になる事業

- ・委員：美菜恋来屋のシャッターが閉まっている店舗があるが、雰囲気がよくない。

⇒事務局：担当課にご意見を伝えさせていただきます。

- ・委員：客単価は景気に左右されるものであり、KPI①の売上額よりもKPI②の入園者数を重要視すべき。南あわじを売り出そう地域が元気になる事業について、達成状況をA評価としているが、KPIの達成具合からみて、B評価が適当でないか。

⇒事務局：(他の委員の賛同もあり)B評価とすることとさせていただきます。また、KPI②について、総合計画と同様にレジ通過数も併せて把握することとします。

- ・委員：バーチャンリアリティーは大変ユニークな取り組みで良かったと思う。ただ、今後もずっと話題性のある情報発信を継続して行っていくのは難しいのではないか。バーチャンリアリティーのHPアクセス件数はどの程度か。

⇒事務局：HPアクセス件数は手元に資料がございませんので、担当課へ確認したうえで、後日ご報告させていただきます。また、アクセス件数そのものもさることながら、事業の話題性からテレビ等へのメディアへの露出が多く、PR効果が高いと考えています。

## ②南あわじドローン（U A S）産業育成事業

- ・委員：実証実験的な事業展開をしたとのことであるが、担当課である農林振興課の意見としては事業に使えるようになりそうなのか。  
⇒事務局：担当課から聞き取りしている内容としましては、すぐに事業展開できるという内容ではありませんが、例えば玉ねぎのべと病被害の状況把握に効果がありそうであるということ聞いています。また、災害状況の把握などでも活用できる可能性が高いと聞いています。
- ・委員：画像解析するソフトウェアが重要になってくると思うがどのような状況か。  
⇒事務局：同様の他システムとの連携を念頭に、ある程度の汎用性が必要であると考えています。
- ・委員：達成状況としてはA評価が妥当。

## ③A S Aトライアングル(南あわじ・鳴門・東かがわ)を結ぶ、サイクリングツーリズム推進事業

- ・委員：自転車の陸路輸送とは何か。  
⇒事務局：現在、鳴門海峡を自転車で渡ることができないため、淡路島と四国をサイクリングで周遊する術がありません。この課題の解決を目的として、鳴門市黒山バス停から南あわじ市高速志知バス停間で自転車をトラックに載せて移動し、人は高速バスで移動していただくとするものです。なお、事業実施は土日祝日の一日3便、1便あたり20台を上限として陸路輸送を予定しています。
- ・委員：高速バスの荷物として自転車を載せられないのか。  
⇒事務局：折りたたんでバックに入れて持ち運びできるようですが、高級な自転車も多く、バス会社が自転車の預かりを嫌がる傾向にあります。
- ・委員：大鳴門橋を自転車又は徒歩で渡れるようになる可能性はあるのか。  
⇒事務局：未知数です。1日だけ一時的に安全確保して歩いて渡るといったイベントもあります。なかなか市単独での実現は難しいので、広域的に働きかけを行いたいと考えています。
- ・委員：南あわじ市で自転車をレンタルできる事業所はあるか。  
⇒事務局：福良地区にあります。
- ・委員：乗り捨てができないと需要がないのではないか。  
⇒事務局：まずは乗り捨てできない状態で事業を実施予定です。
- ・委員：自転車が車道を走ることにより、車等との接触の危険があるので、安全確保が必要と感じる。  
⇒事務局：表示板やブルーレーン（自転車走行帯）などを検討中です。
- ・委員：達成状況としてはB評価が妥当。

④未来の担い手確保・育成総合支援事業 以降については継続審議とした。

#### 4. その他

##### その他① 次回総合戦略検証委員会日程について

○ 事務局より、次回の委員会日程について説明を行った。

#### 5. 閉 会

○ 閉会にあたり、碓副会長よりごあいさつをいただいた。

以上